

議
町

長 日程第3「町長の所信表明」に入ります。

長 皆様、おはようございます。きのうの夜はちょっと風が強かったですけどもね、随分と春の風が心地よいきょうこのごろになりましたところ、議員各位におかれましては、ますますの御健勝のことと心からお喜びを申し上げたいというふうに思います。

さて、去る2月19日に平成28年第1回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともに大変な御多用のところを、全員の御出席を賜りまして、ここに本定例会が開催されますことを、まずもって御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

まず、3月11日、岩手県陸前高田市の東日本大震災追悼式の御案内がございましたので、日帰りという形になってはしまいますけども、参列を予定をしております。あの震災から早くも5年目を迎えるに当たりまして、現地では震災の復興も着々と進んでいることと思われませんが、お亡くなりになられた方々の御冥福と、まだまだ行方不明の方の一日も早く御家族のもとへ帰られることをお祈りをしてまいりたいというふうに思っております。そして、あの震災の教訓を忘れないためにも、当町といたしましては、3月4日から2週間、図書館の特設コーナーにあしがらロータリークラブ様から寄贈をいただきました震災関係の絵本や写真集の展示を行い、この本を小学生に読んでいただき、その感想文などを陸前高田市の小学校へ送るなど、震災の記憶を風化させないために取り組んでまいりたいというふうにも考えております。

また、1月16日から2月21日にかけて開催されました、第4回寄ロウバイまつりは、週末の天候の悪さに悩まされ続け、暖かくなった終盤には雪が降り、花色がくすむなどの悪条件の中での開催となりましたが、過去3年間にわたるまつりの宣伝効果が浸透したこともあってか、約1万2,400人の方々においていただきました。

一方、恒例のまつだ桜まつりでございますが、スタート当初の暖かさの影響により、例年より早く開花が始まり、まつりが始まって1週間で満開を迎えました。2月末までに約12万人を超える方々に訪れていただき、一足先に桜を満喫されているところでございます。

また、2月の14日に行われました、神奈川一周駅伝では、町村の部6位ということで、上郡の中では一番になっております。また、先週行われました、2月28日、足柄上地区一周駅伝では、総合3位ということで、19年ぶりに3位入賞をされたということでございます。選手・関係者の皆様方、また地域の皆様方にはですね、感謝、御礼を申し上げたいというふうに思っております。

それでは、議会に先立ち、貴重なお時間を拝借いたしまして、平成28年度予算案を御審議いただくに当たり、所信の一端を述べさせていただくところでございますが、その前に、この定例会に提案させていただきます条例案と補正予算案の概要について御説明を申し上げます。

初めに、提案しております条例案でございますが、条例の一部を改正する条例10件の議案を提出させていただいております。

まず、条例の改正でございますが、議案第5号松田町行政手続条例等の一部を改正する条例から議案第11号松田町指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、及び議案第13号松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例は、関連します法律等の施行または改正法律の施行に伴い所要の改正が必要となりましたので、御提案をさせていただくものでございます。

議案第12号松田町立幼稚園保育料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例は、町立幼稚園の預かり保育の時間延長に伴いまして、保育料を改定するものでございます。

議案第14号東北地方太平洋沖地震による被災者に対する支援に関する条例の一部を改正する条例につきましては、被災者の方々への支援をさらに1年延長するものでございます。現在1世帯4人の方が松田町に住んでございます。

議案第15号行政不服審査会の事務の委託に関する協議について、行政不服審査会の事務を神奈川県へ委託することに関し、県と協議をするために御提案をさせていただくものでございます。

議案第16号松田町町道路線の変更につきましては、町道19-6号線町道改良工事の実施に伴いまして、終点を変更するものでございます。

続きまして、議案第17号平成27年度補正予算案、一般会計補正予算（補正第6号）についてでございます。まず、主な歳入でございます。新聞報道等でも御存じかと思いますが、賃金の引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援や、高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げを図るため、社会保障・税一体改革の一環として、所得の少ない高齢者の方々を対象に、年金生活者等支援臨時福祉給付金が実施されますので、その関係経費といたしまして2,805万4,000円、また日本年金機構の個人情報流出事件を受け、自治体の情報セキュリティ強化対策費補助金といたしまして590万円の国庫補助などを計上させていただきます。

また、支出では、国庫補助金が充てられます年金生活者等支援臨時福祉給付金事業、情報セキュリティ強化対策費事業を追加させていただくものでございます。なお、両事業とも国の補正予算により追加されたものでございまして、町の事業としましては繰越明許とさせていただき、事業実施は平成28年度ということになります。

この補正第6号は、年度内のほぼ最後の補正予算でございますので、事業が確定し不用になった予算額などを整理させていただくものでもあり、歳入歳出それぞれ2,109万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を42億192万6,000円とするものでございます。

次に、特別会計の補正予算についてでございます。このうち、国民健康保険事業特別会計補正（第4号）でございますが、どうしても医療費が増化傾向にありますので、医療給付費を増額させていただき、それに伴う国庫支出金、県支出金を増額補正させていただくものでございます。なお、3,000万の一般会計からのその他繰入金は、現在のところ増額予定はございません。

次に、介護保険事業特別会計補正（第4号）でございますが、支払基金交付金が確定したために、今回補正させていただくものでございます。

以上が提出条例案と平成27年度補正予算案のそれぞれの概要でございます。

続きまして、議案とともにお届けをさせていただきました平成28年度第1回定例議会所信表明をもとに、平成28年度当初予算案の概要を説明申し上げるとともに、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を申し上げます。

せていただきますが、新規事業と重要事項の概要のみとさせていただくことを御了承いただきたいというふうに思います。

平成28年度における町の予算規模は、一般会計では41億9,000万円、前年度比1億7,000万円の増、率にして4.2%の増となっております。また、国民健康保険事業などの7特別会計の総額は31億4,855万円で2,493万円の減、率で0.8%の減、企業会計の上水道事業会計は2億7,640万円で8,858万円の増、率にして47.2%の増となっております。これら9会計の平成28年度予算総額は76億1,495万円で、前年度比2億3,365万円の増、率にして3.2%の増額の積極型予算となっており、庁舎建設を行った平成17年を除けば、当初予算規模といたしましては過去最大というものとなっております。

次に、予算編成の基本的な考え方でございます。依然として、福祉関連の扶助費が歳出の多くを占め、保健医療、介護関係経費の増加により、町財政を取り巻く環境が依然厳しさを増している状況でございます。予算編成に当たりましては、限られた財源の中で、定住・交流人口の増加を念頭に、優先順位を考慮した予算とさせていただいております。

平成28年度の歳入につきましては、緩やかな景気回復による収入増を期待しているところでございますが、町税収入の伸びは小さく、あわせて人口の減少による地方交付税も減となるなど、依然として私たちを取り巻く環境は予断を許さず、引き続き新たな財源の確保や税の収納率の向上に取り組んでいく必要性があります。歳出におきましては、福祉・子育て関連経費の増加などによる扶助費の伸びや、安心して子供を産み育てる地域づくり、教育環境の充実、公共施設の老朽化による維持管理経費の増大など、依然として厳しい状況でございます。

そんな点を含めて、新年度予算は、重点課題であります安心して子供を産み育てられる地域づくり、ICTを活用した教育環境の充実、従来からの取り組みであります駅周辺整備の加速による中心市街地のにぎわいの創出、また新たな取り組みといたしまして、先人の皆様方が築き上げてこられました松田町の歴史・文化が培ったおもてなしの精神を礎に、「つなぐ」をキーワードに、国内外に開かれた、そして住み続けたいと思える、魅力あるまちづくりのために

重点的に予算を配分し、かつ、今行うべき取り組みを着実に前進させ、地方創生の大きな流れをしっかりと受けとめ、将来に希望と誇りを持てる松田町となるよう、全力で取り組む予算としております。

一般会計における、歳入歳出について特色のあるものを中心に、逐次御説明を申し上げさせていただきます。まず、歳入のうち町税は15億5,359万円で、前年度比89万円の増、率にして0.1%の増となっております。家屋の新築による固定資産税、軽自動車の税率改正及び普通たばこの消費増と旧3級たばこの税率改定による増収が見込まれるものの、個人住民税の課税人数の減少、法人町民税法人税割の12.3%から9.7%への税率改定による減収が見込まれるため、全体といたしましては微増となっております。

続いて、地方交付税でございますが、今年度行いました国勢調査による人口に基づき計算されることから、速報の段階ではありますが、人口減が見込まれることと、及び単位費用の見直しによる基準財政需要額の減及び地方消費税交付金等の基準財政収入額の増により、地方交付税としては減となる見込みで、前年度比1,500万円の減、率では1.8%の減、8億2,000万円を予算額とさせていただきます。

国庫支出金は3億5,513万円で、前年度比2,988万円、9.2%の増となっております。障害者自立支援給付費等負担金、子どものための教育・保育給付費国庫負担金、児童手当国庫負担金、社会資本整備総合交付金などが計上されております。

続いて県支出金でございますが、2億9,878万円で3,635万円の増、率にして13.9%の増となっております。これは市町村自治基盤強化総合補助金、水源環境保全・再生施策市町村交付金、地籍調査費補助金などを計上しております。

次に、繰入金でございますが、2,120万円で前年度比1億2,000万円の減となっております。財政調整基金より2,000万円の繰り入れを予定しております。また、120万につきましては、福田奨学基金からの繰り入れでございます。なお、財政調整基金の残額でございますが、平成27、28年の予定どおりに取り崩しますと、28年度末の残高は2億6,450万円となる見込みでございますが、予算執行に当たっては、財源の確保に当たっては適切な対応を図ることとし、そ

して一層の経費縮減を進めることで、3億円を堅持したいというふうに考えております。

最後に町債でございますが、3億2,500万円で5,500万円の増、率にして20.4%の増となっております。平成28年度で予定している起債につきましては、橋梁長寿命化事業、道路新設改良整備事業、新松田駅南口駅前広場整備事業、教育施設整備事業並びに臨時財政対策債の発行を予定しているところでございます。なお、新年度の臨時財政対策債については、2億1,500万円で1,000万円の減となり、昨年引き続き減少しております。

次に、歳出について、主な施策について、予算科目順に御説明を申し上げます。議会費は予算額が8,698万円で、前年度比756万円の減となっており、8.0%の減となっております。

続いて、総務費でございます。7億4,964万円で、27年度に比べて7,719万円の増、11.5%の増となっております。まず、最重点課題であります定住化促進事業に引続き取り組んでまいりたいというふうに考えております。新規事業といたしましては、定住少子化対策支援事業といたしまして1,499万円の中に含まれておりますが、空き家の有効活用と民間賃貸住宅などの空き室率の解消への子育て世代等の支援としまして、民間賃貸住宅家賃補助に90万円、子育て世代向け住宅などの事業実現化に向けた費用としまして609万円が計上されております。また、財産管理経費に含まれますが、老朽化が進む公共施設の更新計画などを定めた公共施設等総合管理計画などの策定委託料、自治基本条例策定の費用として、審議会委員報償や策定支援業務委託料など。また、2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、外国人観光客等の受け入れに向けた町内環境整備を進めるために、松田町の歴史に根づくおもてなしの文化を、町一丸となり、町内外に向け発信、浸透させていきたいと考えております。具体的には、町内へのWi-Fi環境整備や町民参画型のソフト事業開催等の経費701万円を、また、ふるさと納税に関する経費を計上しております。

続きまして、最重点課題であります定住化促進事業に引続き取り組みます。定住希望者への積極的な情報提供、若者の出会いの機会づくり、実際に町に住

まいを構えていただいた方や雇用を創出した企業に対する補助、町の魅力の再発見を促す同窓会開催への支援、民間賃貸住宅などの空き室問題への対応は引き続き取り組むものとし、子育て世代向け住宅などの事業実現化に向けた費用などを計上し、公共交通の補完を目的に、路線バスの維持確保を合わせた地域公共交通対策としまして、乗合バス運行補助事業、通学定期券助成事業、高齢者バス定期券助成事業についても、継続して行うものとして計上しております。

民生費でございますが、予算額11億6,839万円、前年度対比1,203万円を減とし、率にして1%の減となっております。減額の原因としましては、保育所運営費委託料は増となったものの、保育緊急対策事業補助金が減となったためでございます。高齢者や障害者のための基本的な施策は、もちろん継続するほか、中学校修了まで無料化をしている小児医療費助成についても事業を継続してまいります。さらに、定住化対策の一環としまして、ひとり親家庭等医療費助成事業に844万円、子育て支援センター・ファミリーサポート事業、学童保育運営事業につきましては、受け入れ児童の増加に伴いまして、松田学童保育を3クラスにふやす予算を計上するなど、事業の拡充をしてみたいというふうに考えております。なお、国民健康保険事業特別会計に対しましては、法定外のその他繰出金2,000万円を含めた繰出金として1億1,529万円を、介護保険事業特別会計には繰出金1億6,670万円、さらに後期高齢者医療制度経費1億3,620万円と、各特別会計への繰出金などを計上したところでございます。

続いて、衛生費でございます。予算額は2億7,417万円で、前年度比1,573万円の増、率にして6.1%の増となっております。増額の主な要因としましては、31年度供用開始を予定しております小田原市斎場整備費負担金となっております。また、国の方針で、新規に、子育て世代包括支援センターで、いわゆる日本版ネウボラの整備を図ることとなっております。妊娠期から子育て期まで切れ目のない情報提供、相談支援を行うことになり、利用者支援に当たる相談員として、保健師を1名雇用する経費、賃金を計上したところでございます。この衛生費でも、定住化促進事業といたしまして、健康診査や健康づくり事業などに引き続き取り組んでまいります。当町におきましては、昨年6月より不妊治療医療費助成を行っておりますが、平成28年度の予算には、妊娠はするけれど

も、流産、死産や新生児死亡などを繰り返して、結果的にお子さんを持たない方への不育治療費助成の予算も新たに計上してございます。

続いて、農林水産業費でございます。予算額は1億242万円で、前年度比353万円、3.6%の増となっております。ドッグランの管理運営費、また、かながわ水源環境保全・再生実行5カ年計画に基づき、地域水源林として位置づけた地域の私有林整備事業を計上させていただきます。

次に、商工費でございます。予算額が1億2,098万円で、前年度比168万円の増、1.4%の増となっております。まずは継続事業といたしまして、移動販売車による各地区への巡回して生活物資などを販売する事業者に対して、運営費用等に要する経費を補助する移動販売奨励事業を計上しております。町営臨時駐車場脇のポケットパーク内に、利用者の利便性の向上と、おもてなしのためのトイレを常設する経費を計上し、また西平畑公園内に多目的トイレを整備するための費用を計上してございます。また、松田ブランド事業といたしまして費用を計上しております。特産品開発事業といたしましては、松田町特産品の中から松田ブランドを選定し広くPRをして、ふるさと納税などにも効果があがるようにしていきたいというふうに考えております。また、平成28年度も、まつだ桜まつり、キラキラフェスタ事業などで、フェスティバル事業や観光宣伝事業を継続実施するものとし、空き店舗対策事業といたしましては、商店街の空き店舗の解消を図り、商店街の活性化と暮らしやすさの向上を目的とし、空き店舗を活用して事業を始めようとする方々を対象として、空き店舗賃借料の一部を補助するなどの予算を計上しております。ことしで3年目となります商工振興商品券発行事業、いわゆるプレミアム商品券の発行補助金も10%のプレミア率になりますが、引き続き計上しております。

続いて土木費でございますが、予算額は5億9,453万円で、前年度比1億4,030万円の増、率にして30.9%の増となっております。定住化促進のために、住環境などの基盤整備は不可欠なものでございます。新松田駅南口駅前広場整備事業には、用地買収等の費用や籠場町有地への民間活力を利用しての町営住宅建設事業を計上しております。また、昨年度に引き続き、都市づくりの課題と、これに対応した整備等の方針を明らかにする都市マスタープラン策定業務を計

上しております。続いて、新松田駅周辺整備を町の核となる事業と位置づけ、関係者との協議、検討を一步進めるために、まちづくり構想推進事業といたしましての予算を計上いたしております。平成27年度におきまして、地権者や公共交通の事業者など関係機関との協議会を発足いたしましたので、3年間を目途に、基本方針、基本構想を検討してまいる予定でございます。また、道路補修事業費としまして、平成28年度は、ロマンス通りの町道3号線などの舗装工事を予算計上しております。また、道路新設改良整備事業を積極的に推進するため、昨年度より倍増の7,926万円、福昌院さんから下流に向かっての河土川河川整備工事を計上いたしました。これらは、地権者の御理解と御協力を賜りながら、整備を推進してまいりたいというふう考えております。また、谷津・谷戸・仲町地区約7ヘクタールの地籍調査費用、田代橋の耐震補強を含めた橋梁長寿命化補修事業を計上しております。

次に、消防費でございます。平成28年度予算額は2億834万円で前年度比1,850万円の減、率にしまして8.2%の減となっております。主な減額の要因といたしましては、小田原市消防本部に対する負担金の減でございます。広域化前の旧足柄消防組合に属されておりました職員の方々の退職手当が落ち着いたことによるものでございます。また、消防資機材等整備事業につきましては、防災倉庫、災害時の非常食購入費などを計上しております。

続いて、教育費でございます。5億1,428万円で前年度比4,727万円の減、8.4%の減となっております。減につきましては、今後、松田小学校を初めとする老朽化した教育施設の今後の整備に対応するため、教育施設整備基金への積み立てを、昨年度の1億円から5,000万円としたことが主でございます。教育施設整備基金につきましては、平成28年度の残額として2億5,000万円となり、今後も計画的に取り組んでまいる所存でございます。新規事業としましては、萱沼地域集会施設の整備事業、湯の沢児童センター耐震補強工事を計上しております。また、金額は少額になりますが、少子化による児童・生徒の減少を受け、町全体としまして教育的観点から、学校の適正規模を検討するための経費、そして道徳教育推進事業、また継続事業であります。学校ICT推進事業を計上しております。これで、小学5年生から中学2年生までの全ての児童・生

徒にタブレットが配布されることとなります。そして、この教育費にも、幾つか定住化促進事業があります。給食費保護者負担軽減措置事業、学校警備員配置事業のほか、小・中学校における障害のある児童・生徒のための介助員や、普通教室等でも学習支援を必要とする児童・生徒に対応する学習支援員を配置する事業を継続するとともに、幼稚園2園ともに3年保育を実施し、無料送迎バスの運行も継続してまいります。

公債費でございますが、3億4,626万円と前年度比1,877万円、率にして5.7%の増となりました。

最後に予備費でございます。2,400万を計上してあります。

以上、一般会計における平成28年度当初予算案のあらましとなりました。

続きまして、特別会計・企業会計について御説明を申し上げます。まず、国民健康保険事業特別会計についてでございます。予算額は15億3,255万円で、前年度比較2.4%の増となっております。国民健康保険は、年々増加する医療費に対応するため、平成24年度に税率改定を行ったところでございますが、被保険者の減少や景気の低迷による所得の減少、さらに軽減税率の拡充などから保険税収入は伸びない状況でございます。さらに25年度・26年度は、基金を崩さず済みましたが、医療費の伸びが止まらず、一般会計に頼らざるを得ない状況は全く変わらず、この財政運営は極めて厳しい状況でございます。

次に国民健康保険診療所事業特別会計でございますが、予算額は7,183万円となり、前年度比較2.5%の減となっております。これは備品購入がなくなったことによるものでございます。国民健康保険診療所は、現在、嘱託の医師と県立足柄上病院の医師と連携し運営をしておりますが、より安定した運営ができるよう診療体制を一部見直すことにより、さらに町民の皆様方の健康と地域医療の向上に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

次に、上水道事業会計についてでございます。予算額は2億7,640万円で前年度比較47.2%の増額となっております。水道使用料につきましては、給水人口の減少や節水志向による使用水量の減少により1.5%の減となっております。資本的支出につきましては、正規職員を配置するとともに県道711号線の改良に合わせた老朽管の布設替え工事、宮下水源送水用電動弁などの更新工事に加

え、昭和58年設置の中河原水源電気設備改修工事等を2カ年の継続費で組み、初年度分の工事費、委託料を計上させていただき、前年度比199.8%の増、1億3,422万円となっております。

次に寄簡易水道事業特別会計についてでございます。予算額は4,564万円で前年度比較8.2%の減となっております。歳入につきましては、水道使用料が伸び悩み、前年度比較3%の減、計画的な施設更新が必要なために、起債を借り入れ繰入金に頼る状況は続いております。歳出につきましては、老朽管の布設替えといたしまして弥勒寺地区の配水管布設替え工事、昭和51年に設置した弥勒寺第1水源ポンプ盤更新工事、平成9年に設置した弥勒寺水源非常用自家発電装置改修工事を計上し、町債で対応しております。

次は下水道事業特別会計についてでございます。予算額は3億4,271万円となり、前年度比較5%の減となっております。現在、下水道処理人口普及率は91.4%となっております。歳入のうち下水道使用料は、使用者人口の減少に伴い、前年度比較1%の減の1億270万となっております。また、一般会計からの繰入金1億6,700万は町債の償還に充てております。歳出につきまして、流域下水道費が小田原市寿浄水場分の処理が平成28年4月から開始されることにより、全体の計画有収水量がふえ、松田町の割合が低くなったことなどによる理由により8.2%の減の7,107万7,000円となっております。

続いて、介護保険事業特別会計についてでございます。予算額は9億8,312万円となり前年度比較3.3%の増となっております。介護保険事業につきましては、平成28年度からスタートした第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の2年目になり、高齢者を主体として住み慣れた地域での生活を支える地域包括ケアシステムの構築を進め、あわせて生活支援体制の整備を推進いたします。

次に用地取得特別会計についてでございます。予算額は7,811万円となり、平成23年度に取得した籠場町有地の起債に対する元利償還金652万円と、平成27年度に取得する予定の町屋町有地の償還金利子122万円を計上しております。

最後に後期高齢者医療特別会計でございます。予算額は1億6,490万円で前年度比4.3%の増となっております。現在の被保険者数は1,748人で年々増加していることから、医療費などが伸び後期高齢者医療広域連合への納付金が年々

ふえております。後期高齢者医療関係では、この特別会計のほか一般会計から後期高齢者医療広域連合への直接支出をする広域連合事務費負担金と、法定の市町村定率負担金を計上しております。

以上が平成28年度当初予算案と当面の町政運営につきましての私からの所信の一端でございます。また、さきの臨時議会で議案撤回をさせていただきました土地等の取得につきましては、2月24日に県と再度の仮契約が調いましたので、あすの全員協議会で御説明を申し上げ、そののち追加議案として提案をさせていただきますので、御審議のほどよろしく申し上げます。なお、人権擁護委員の推薦と教育委員会委員の任命については同意を願う案件であり、これにつきましては準備が整い次第、提案させていただきたいと存じます。

以上、提案いたしました案件につきましては、議事の進行に伴い私を初め教育長・課長等により御説明を申し上げますので、よろしく御審議の上、御議決賜ります、また御認定を賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。よろしく申し上げます。